

# こども家庭センターだより

あした

## 明日もしあわせ通信 (第97号) 令和6年7月

### 子育ていろいろ

梅雨の時期、蒸し暑い日が続いておりますが皆さんいかがお過ごしでしょうか。今年も車庫の一角でツバメが子育てをしていました。天敵の脅威にさらされながらも懸命にヒナを育てる姿を、目の前で見てくれるツバメ。ヒナの成長を楽しみに応援し、幸せな気持ちになります。

さて、自己肯定感のお話です。何かを始めるチャンスに「どうせ自分にはできっこない…」と感じてしまうなど、大人になっても自己肯定感は影響しますよね。幼少期に自己肯定感を育むポイントを三つご紹介します。①安定した温かい愛情表現をする。まずは、子どもが取り組んだことやできたことを認め、褒めることです。一緒に喜んだり悔しがったり感情を共有することも大切。周りに協力を求め、安心してやりたいことができる子につながります。②自己表現を受け入れる。自分の感情や考えを表現することが自己肯定感を高めます。子どもが興味を持ったことを大切に扱います。発明家エジソンの幼少期、周囲の中で母だけは彼を認め、やりたいことの邪魔をしなかったと言われてますね（古い？）。子どもの作品を家に飾ってあげるのも効果的だと思います。③責任感を持つ経験をさせる。家庭で何か任せたことにお礼を伝え、褒めるのです。誰かの役に立ったと実感でき、これらの成功体験が子どもの背中を押してくれます。

子育ての情報はたくさんありますが、できることから取り組んでみたいですね。私の場合、30年前に戻れるなら…と思いつつ目下勉強中です。（A.F）

### 伊予市子育て応援宣言

～育てよう未来の伊予 世界をかけるこどもたち～

子育ての相談は

こども家庭センター TEL (089) 989-6226 へ

### 教育支援教室「はばたき」

#### たくさん経験してほしい「しあわせ感」

60年ほど前に、坂本九さんという歌手が歌って大流行した歌「しあわせなら手をたたこう！」という歌は、ほとんどの方がご存じだと思います。一番の歌詞は「しあわせなら手をたたこう！しあわせなら手をたたこう！しあわせなら態度でしめそうよ！ほら、みんなで手をたたこう！」です。みんなと一緒に手をたたいてあったかいしあわせな気持ちになった経験がありますよね。みんなでしあわせ感を共有できるすばらしい歌だと思います。子どもたちもこの歌を園や学校で歌っているのでしょうか。ちなみにこの歌は12番まであるそうです。このような歌を通じてだけでなく、数多くのしあわせ感を家庭や集団で感じることは、心を豊かにする大事な体験だと思います。



子どもたちには、歌だけに限らずいろんな場面でしあわせ感を感じながら心豊かに成長してほしいと願っています。そして、そのためには大人自身がしあわせ感をたくさん感じ、子どもたちと分け合っていくことも必要だろうと思います。私たち大人は、子どもたちに毎日しあわせだなと思ってもらえるように心掛けていきたいものです。（M.S）

教育支援教室に関する相談は、遠慮なくご相談ください。

TEL (089-989-5022)

教室専用携帯 (080-2974-4581)

## よろしくお願ひします

はじめまして。4月からはばたき教室で勤務させていただいております西岡恵理子と申します。この3月まで松前町の小学校に勤務していました。まだまだ分からないことも多く、うろうろあたふたしていることも多いですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

「しあわせはいつもじぶんのところがきめる」は、私の大好きな相田みつをさんの有名な詩です。小学校に勤めていた時、この詩を卒業生に向けて卒業文集にずっと書き続けてきました。「毎日生活していれば、うれしいことだけでなく、悲しいことも悔しいこともあるよ。でも、その体験をどうとらえ受け止めていくかで心持ちが違うからね。どうぞ前向きにとらえて幸せになってね。」という思いを込めて卒業生たちにこの詩を送ってきました。

人生の後半戦を迎えた今、この詩の意味を改めて考え直しています。笑って過ごしても一日、泣いて過ごしても一日。毎日前向きに愉しんでいきたいなど。(E.N)



## おおぞら通信

### 2年目を迎え・・・

子どもの居場所事業「おおぞら」は、昨年の6月に開所して以来、2年目を迎えました。2年目を迎えるにあたって、施設の運営について、次のように変更しました。

- 1 開所時間を12時から20時までを、1時間繰り上げて、11時から19時までとしました。これにより、少しではありますが、午前中の対応も可能としました。
- 2 利用の対象を「家庭に引きこもっている」子どもさんだけでなく、教育支援教室「はばたき」と「おおぞら」を併用できるようになりました。また、学校に行きづらくなりかけている子どもさんにも、状況に応じて「おおぞら」を居場所として使っていただけるようになりました。
- 3 子どもの居場所事業は、伊予市が全国に先駆けて取り組んでいる事業ですが、市民の方々に対してより周知を図るため、広報活動にも力を入れています。4月には伊予市の小中学校校長会で、5月にはPTA連合会総会で、事業の紹介を行いました。

以上のように、多くの人に知ってもらい、より利用しやすい「おおぞら」を運営することで、困ったり、悩んだりしている伊予市の子どもたちのためになることを目指しています。お子様の不登校等で悩んでいる保護者の皆様、一人で悩まず、まずは気軽に、お電話でのご相談をお待ちしております。(T・M)

( ☎ 989-5014 )



### アイスにぎるそば、いかが・・・？

夏至がやって来ました。じめじめと蒸し暑くすっきりしませんがこの時季、冷たい食べ物が食欲をそそります。

アイス屋さんの機械から巻かれながらコーンに乗るソフトクリームは思い浮かべただけでよだれが出そうです。「◇◇くん」などの棒付きアイスも大人気ですね。



さて、幼児さんたちはどんな食べ方をしますか？実は、アイス舌をぺろぺろ舐めることは口の動きを滑らかにし発語器官の発達を促すのもってこいの動作です。溶けそうなところから必死でぺろぺろ舐めることを続ける(練習する?)うちにいつの間にか上手になり、ついでに発音も上手になっています。「すする」動作も効果的です。ざるそばやそうめんを「すすって」食べる練習をおすすめします。

ほかに、飲み物をストローで吸ったり、吹いてシャボン玉を作ったりなど夏にぴったりの活動がたくさんありますので、遊びながら口を使う経験をたっぷりとさせてあげてくださいね。(K)



伊予市こども家庭センター  
伊予市総合保健福祉センター2階  
伊予市尾崎3-1 ☎989-6226  
携帯 080-2974-4580

